

平成27年度 県立芦屋特別支援学校 学校評価[自己評価]（今年度実現度の比率、前年度との達成率・達成段階の比較、保護者アンケート結果との比較）

(4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない 0:わからない)

80%以上A判定 70%以上B判定 69%以下C判定

訪問教育	子どもたちに力をつける授業、個々を細かく見つめる事例研究の充実	訪問教育の充実	在宅訪問	17	保護者や医療関係者との連携を十分に図り、個々のニーズに合わせた教育活動を進める	36 50 1 0 13 86 A 96 A	6	教育活動の様々な取り組みにおいて、保護者と教職員が情報の共有を図り協力できていましたか。【本校】	47 46 6 0 1 93 A
			砂子訪問	18	施設等の関係者と連携して児童生徒の実態把握に努め、生活年齢や健康状態に配慮した教育活動を推進する	32 50 2 0 16 82 A 95 A	11	児童生徒一人ひとりに応じた指導を行うために、訪問学級と「西宮すなご医療福祉センター」が十分に連携を図っていると思いますか。【砂子】	60 33 0 7 0 93 A
教育課程	子どもたちに力をつける授業、個々を細かく見つめる事例研究の充実	わかる授業・楽しい授業づくり 生活につながる力を高める授業 PDCAサイクルに基づく指導・評価	自立活動部	19	授業づくりに生かせる、個別の指導計画作成のためのアセスメントを適切に行う	13 66 13 1 8 79 B 86 A	8	児童生徒の実態・特性・発達に応じた教材や教具の工夫がなされ、個に応じた指導が行われていましたか。【本校】	45 43 8 1 2 88 A
			研究研修部	20	多様化講師による授業作りの研修や、児童生徒の事例研究を通して、個々のニーズに応じた支援の手立てを明らかにし、個別の指導計画の作成に活用する	24 66 4 1 4 90 A 86 A	9	児童生徒一人ひとりの実態・特性・発達段階に応じて、訪問学級の教育活動が行われていると思いますか。【砂子】	66 27 0 0 7 93 A
			教務部	21	教科領域ごとの年間指導計画の作成と共に、授業を通して児童生徒が身につけたことが明確になる評価表の作成を行う	12 63 14 3 8 75 B 90 A	7	「個別の指導計画」の目標設定や評価は適切でわかりやすいものでしたか。【本校】	58 38 3 0 1 96 A
課題教育	合理的な配慮の提供を見据えた教育実践	個別の指導計画の作成と活用	教務部	22	適切なアセスメントに基づく個別の指導計画を作成し、個々の配慮事項について保護者と合意形成を図り、指導に活かす	16 66 10 1 7 82 A 85 A	8	9月および3月にお送りしている『個別の指導計画』をご覧になり、児童生徒の目標に対する手立てがしっかりと立てられ、指導経過や評価が十分に行われていると思われますか。【砂子】	66 27 0 0 7 93 A
			個を高め指導力を高める研究研修	23	教材教具展を通して、指導実践を学び合う機会を作ると共に、専門性の高い研修会を実施して、よりよい指導ができるようにする	25 65 6 1 4 90 A 85 A	8	児童生徒の実態・特性・発達に応じた教材や教具の工夫がなされ、個に応じた指導が行われていましたか。【本校】	45 43 8 1 2 88 A
課題教育	キャリア教育・就労支援の充実	小中高とつながるキャリア教育の系統化	キャリア教育推進委員会	24	系統立てた指導ができるよう、各学部・学年における具体的な指導内容について関連教科領域部会において情報交換を行う	12 54 24 2 9 65 C			
				25	キャリア教育の一環として、全校的・段階的な『挨拶』の取り組みを進める	20 64 9 1 6 84 A 88 A	9	校内で、児童生徒による積極的な挨拶はみられましたか。また、保護者の方のあいさつに児童生徒から挨拶はかえってきましたか。【本校】	30 47 18 2 4 77 B
		高等部卒業後の自立と社会参加を見据えた指導	学部	26	教科指導や日常生活指導、現場実習等を通して、働く力と意欲を身につけさせる	21 61 7 0 11 82 A 92 A			
			進路指導部	27	児童生徒の希望や特性に応じた進路指導を進めるために、地域・家庭及び福祉・労働等の関係機関との連携を強める	23 64 7 4 2 高87 A 16 61 5 0 18 中77 B 20 65 3 0 13 小85 A	91 A	進路について、個に応じた指導や相談が行われていましたか。【本校】	37 37 10 8 8 高74 B 15 38 15 6 26 中53 C 30 36 0 0 34 小66 C
交流及び共同学習の推進	交流及び共同学習の推進	学校間交流の推進	交流及び共同学習推進委員会(高) 教務部(小・中)	28	相手校と連携して年間計画を立て、推進委員会、教務部を中心に進捗状況を確認しながら進める	25 59 3 1 13 83 A 94 A	4	近隣の小学校、中学校、高等学校などとの交流は充実していましたか。【本校】	35 46 7 1 11 81 A
		居住地校交流の推進(小学部・中学部/居住地)	教務部	29	交流のねらいを明らかにし、児童生徒の経験・活動の場を広げて社会性を育むと共に、本校児童生徒とその教育についての理解啓発を促す	23 57 7 1 12 80 A 94 A			
		地域の方々との交流活動	支援部	30	地域交流や「特別支援学校 交流・体験チャレンジ事業」に関わるイベントや学習を協力・実施する	19 60 8 0 13 79 B			